

令和4年度の自己点検・自己評価
に対する学校関係者評価報告書

学校法人 赤門学院
専門学校 赤門自動車整備大学校

第八回 学校関係者評価報告書

設置者	学校法人 赤門学院	
学校名	専門学校 赤門自動車整備大学校	
会議名	第八回 学校関係者評価委員会	
開催日時	令和5年1月27日（金） 14:00～15:00	
場所	宮城県仙台市青葉区川内川前丁61 専門学校赤門自動車整備大学校 3階会議室	
出席者	<学校関係者評価委員>	
	宮城スバル自動車株式会社	東北統括本部技術支援課課長 藤枝 義寛 様
	<学校事務局>	
	専門学校 赤門自動車整備大学校	理事長・校長 國分 活妙
	専門学校 赤門自動車整備大学校	2・3級科教務指導長 佐藤 信也
	専門学校 赤門自動車整備大学校	広報室長 若生 千晶
	専門学校 赤門自動車整備大学校	事務長 早坂 義之
	※出席者：5名 欠席者：阿部勝自動車工業株式会社 代表取締役社長 阿部 勝敏 様	
	<その他>	
	専門学校 赤門自動車整備大学校	副校長 國分 龍人
	専門学校 赤門自動車整備大学校	1・2級科教務指導長 上田 忠之
	専門学校 赤門自動車整備大学校	2級科教務指導長 皆川 幸正
専門学校 赤門自動車整備大学校	職員 宍戸 茂樹	
会議内容	<p><次第></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会および理事長挨拶 2. 自己評価の結果について説明 3. 自己評価の結果について審議 4. 閉会 <p><説明></p> <p>(1)教育理念・目標 専門職大学設置教育理念は一緒。 令和3年より留学生の教育方針を策定。→学則より（フリガナ有） 教育理念に教職員・学生に説明し、周知されるようにしていく。 ニーズの方向性…教育課程編成委員会の意見を取り入れていく。</p> <p>(2)学校運営 概ね問題ない。ほぼ適切。 今後の改善方策を進める。…PCやネットワーク効率化の充実。 データがバラバラ…サーバー管理の導入。互いにフォローしながら作業を進める。</p> <p>特記事項説明 …今後発生が予想される、北海道・三陸沖後発地震等への対策も検討していく必要がある。</p>	

(3)教育活動

「資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか」→4から3へ。

カリキュラム…コロナ禍による影響を受けた。

「人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか」→2のまま。人材確保…ばらつき有。仕事の分離化を明確にする。

教育レベルを落とさない。

(4)学習成果

「資格取得率の向上が図られているか」…4から3へ

コロナ禍の影響による影響を受けた。

休学退学による進路変動満足度の向上が必要。

(5)学生支援

「進路・就職に関する支援体制は整備されているか」…4から3へ

就職活動の支援体制を明確にする。…県内から県外の順序

(6)教育環境

耐震性に不安が原因。

実習場で使用している設備教材等はまだ古いものがある。

インターンシップ実施。

…監査対応のため4年度はとりやめ。1年生は5年度より実施。

防災訓練は4月に実施。

古い教材の数…約200

→鉄くずが増え、保管場所がなくなる。学生から見て良くないのではないか。整理整頓が必要（入替）新しい教材は増えているのに。学生と教員の満足度向上につなげる。

だんだん校舎に置くところが無くなっていく。

今後整理をしていかななくてはならない。

使用してから廃棄すべき。→ストラット。ただで捨てない。

(7)学生の受入れ募集

ほぼ適切。

説明会開催を増やす。SNSの充実。

在校生の満足度を上げる。留学生アップ…口コミ

日本人の満足度を上げる。職員やスタッフ（ES）の内部充実

CSにつなげていく。

(8)財務

ほぼ適切。

財政…現状は安定しているが財務基盤の安定化が課題。

学生確保による納付金アップ。

安定した運営→予算管理。会計士との連携。

(9)法令等の遵守

「個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか」…4から3へ
シュレッターか裏紙で使用するか→学校ではっきりさせる。

(10)社会貢献・地域貢献

「学生のボランティアから」…3から2へ
赤門祭、テストコースの使用。コロナ禍で実施できなかったが、今年度はできた。
公開講座はできていない。（コロナ禍）
知名度を上げるためにもっと動くべきではないか。

<審議内容>

- C S も上げるために E S を上げる。考え方を変える。中堅社員を対象に教育を実施。
- スキル向上が必要。
- 会社で教えきれないことを学校で教える。
- ある程度動ける環境整備が必要→学生に伝わってしまう。
- ペーパーレスの実施すべきだがすぐに浸透するのは難しい。時間の確保が必要。
- 紙ベースから電子化へ。
- 企業において、部品の勉強会や社員教育はどのようにしているか？

→3年目までは特に何もしていなかった。今は1から10まで教えなくていけない。就業時間内に勉強の時間を設ける。（1時間位）最初が肝心。入社してから1ヶ月みっちり教えることで我慢強くなり、離職率低下につながっている。そのためにも時間の確保が重要であり何のために勉強するのか考えることが必要。一つ研修を行うことに準備が必要。

- 実習担当に対する不満…教員で時間を取って同じビジョンを向く。共有化。
- 業務内容と時間の確保が必要。
- 健康経営宣言。リストア車両を走らせた。→E S チャレンジ精神。誇りを持つ。

<その他>

スケジュールが厳しい中、皆様のご協力により無事取りまとめることが出来たことに感謝を申し上げます。自己評価表に回答した教職員の中には、評価点を一部付け忘れ等もありましたが、概ね回答されていると判断しました。

今後の課題としては、自己評価表に記載されている「課題」を解決するために「今後の改善方策」をどの位実行できるかと考えております。そのためにも、まずは私自身が教職員の方々からいろいろとお聞きして、理解を深める努力をしていきたいと思っております。

以 上